

<庁舎の機能>

1) 事務機能

役場庁舎には多種多様な事務があるため、専門事務等の業務を効率的に行えるように、業務内容に応じて執務環境を整える機能が必要である。レイアウトの変更が容易にできるよう、また、各課の連携の効率化を図るため、原則としてオープンフロアとし、床はOAフロアとする。打合せスペース等は同フロアで共用できるように配慮し、無駄なスペースとならぬよう配慮することが望まれる。

2) 窓口機能

来庁した方々の利便性を高めるために、住民利用の多いものについては、できるだけ集約して配置し、ワンストップサービスを目指すなど便利な窓口体制を整備する。よって、住民生活に関連する窓口機能を有する部署については、住民サービスの向上や事務の効率化を図るために集約することが望まれる。

また、相談内容や窓口業務に応じてプライバシーの確保が図られることが必要である。

3) 住民機能

住民への情報提供と情報共有を進める情報コーナー及び情報公開コーナーや住民自治活動等をサポートするためのスペース・事務機器などを整備することも必要である。また、子供連れの来庁者が、用事を足す間、安心して子供を預けられる託児コーナーなどの設置も求められる。

4) 議会機能

町民の声を町政に反映し、より活発な議会運営を進めていくために議場や委員会室の充実を図る。議員が政策研究をするための機能や、議員同士または議員と職員が意見を交換しあえる機能を備える必要がある。また、町民に開かれた議会を実現するために、本会議や委員会の傍聴機能、町民への情報提供機能を充実させることが求められる。

5) 防災機能

災害時には災害対策本部となる防災拠点機能を有し、対策本部として必要な設備や情報システムなどの配備を図る必要がある。また、災害時にも庁舎機能を維持するため、建物自体の耐震性能を強化し、非常用電源等を整備する必要がある。

6) 職員関連機能

労働安全衛生法等に準拠して、職員が健康を維持し職務を円滑に進めるために、更衣室や休憩時間中に利用できる休憩室を配置するなど、働きやすい環境や事務に集中できる環境の整備が望まれる。

7) 倉庫機能

日常業務に必要な物品を保管する倉庫や長期書類を保存するための保管庫を整備することが望まれる。

8) 環境との共生機能

太陽光など自然エネルギーを活用し、省資源・省エネルギーなどの環境に配慮した設備機器

やシステムを整備することが望まれる。

9) 庁舎維持・セキュリティ機能

庁舎の機能維持のために必要な機械室やLANシステムに必要な設備・機能を設置するための空間を確保することが望まれる。また、個人情報や行政情報など重要な情報の管理や夜間・休日などに対応した庁舎管理などのセキュリティ機能を確立することも必要である。

10) 駐車場等

来庁者の利便性を高めるため、庁舎入口に近い位置に必要な駐車場を確保するとともに、庁舎に出入りする歩行者の安全にも配慮した、わかりやすい通行路、誘導路と案内表示等の整備が必要である。

●ポイント 『おいらせ町庁舎にあるべき姿や備えるべき機能は？』

例えば…

・住民に親しまれる（住民に開かれた）施設

地方分権・地域間競争の時代を迎え、新たな魅力を創出し町内の活性化を向上させるためには、住民と行政が一体となって創意工夫し、様々な課題に積極的に取り組むことが必要となってきました。

・ユニバーサルデザイン・バリアフリー対応の施設

本格的な少子・高齢社会の時代を迎え、すべての人が自立した個人として参画できる社会の実現が求められています。このため、社会を構成する建築物を含めた社会資本を整備する上でも、だれもが利用出来る施設整備が重要な課題となっています。

・環境共生型の施設

エネルギーの使用の合理化に関する法律、地球温暖化対策推進法の改正など、温暖化対策に関する社会情勢が大きく変化する中、町は様々な環境施策を進めるとともに、より一層の率先的かつ積極的な環境配慮行動を進める必要があります。

・防災拠点となる施設

東日本大震災で被災した経験を踏まえ、防災の拠点として庁舎機能を強化する必要があります。耐震性に問題がある分庁舎は倒壊の恐れがあり、さらには、防災・災害復興拠点としての果たすべき機能が担えない状態です。

・経済性・耐久性を考慮した施設

庁舎を維持管理していくに当たって、ライフサイクルコストを含めた経済性に配慮し、各分野において決して過剰な投資とならないよう長期間にわたり庁舎としての基本性能を維持していくことを前提とした耐久性のある施設づくりを行う必要があります。

・情報化に対応した施設

携帯電話に見られるように、情報処理技術の発展は人々のライフスタイルを大きく変化させています。行政事務処理ではすでに住民基本台帳ネットワークシステムが稼働しているところであり、行政サービス事務の維持向上が期待されます。

＜庁舎の多様な役割・機能に関するメニュー例＞

庁舎に求められる役割	施設整備具体例（※一部ソフト面を含む）
行政事務機能	窓口スペース/会議室/資料室 等
議会機能	議場/委員会室/議会図書室 等
行政サービス提供の場	窓口スペース/住民相談室/情報公開室 等
誰もが利用しやすい庁舎	ユニバーサルデザインの登用/わかりやすいフロア構成及び動線整備/使いやすい設備機器/見やすくわかりやすい案内表示/フロアマネージャーの設置/ワンストップサービスの実施等
利便性に配慮した庁舎	アクセスの整備/総合窓口の設置(ワンストップサービスの実現)/オンラインによる24時間受付/生活利便施設の設置 等
情報化に対応した庁舎	OA環境の充実/フリーアドレスの導入/電子行政（書類の電子化、庁内ネットワークの整備等）の実現 等
環境に配慮した庁舎	エコマテリアルの使用/施設・設備の長寿命化/周辺環境への配慮/フレキシブルに対応できる諸室/省エネの実現/自然エネルギーの利用/廃棄物の削減 等
景観に配慮した庁舎	周辺景観への配慮/地域になじんだ景観/地域の象徴（シンボル）となる庁舎像/ 等
防災拠点としての庁舎	防災機能の整備/情報機能の強化/生活物資の備蓄/非常用電源の設置/新エネルギーの導入/オープンスペースの確保 等
安心・安全な庁舎	耐震性の確保/免震・制震構造の導入/非常用電源の設置/新エネルギーの導入/災害予測調査結果等に配慮した配置 等
行政改革を推進する庁舎	機能及び組織の分散又は集中/時勢に対応した組織体制の整備 等
住民が憩い・集える庁舎	住民参画や情報公開の場の提供/パブリックスペースの充実/NPO等、住民活動の支援 等
町のシンボルとなる庁舎	各種機能（商業・観光・業務・居住・文化等）の拠点における整備/地域の象徴（シンボル）となる庁舎像/地場産業や観光等の案内 等
まちづくりの中核となる庁舎	住民参画の場の提供/地域アピール等の促進/パブリックスペースの充実/まちづくり講座等の開催 等
地域に根ざした庁舎	パブリックスペースの充実/生活利便施設（福利厚生施設）の設置/住民参画や情報公開の場の提供/ NPO等、住民活動の支援 等
効率的で働きやすい庁舎	余裕あるフロア構成/効率的な作業動線/収納スペースの確保/共有空間の確保 等
ライフサイクルを意識した庁舎	諸室の転用/素材の耐用年数の考慮/維持管理しやすい素材の使用/自然エネルギーの利用/シンプルかつ低コスト 等

■用語の定義

用語	説明
ユニバーサルデザイン	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、すべての人が快適に利用できるように製品や建造物、生活空間などをデザインすること。
フロアマネージャー	来庁者の要望を聞いて的確に手配する役目の人。総合案内のように来庁者が質問に来るのを待つのではなく、困っていそうな人に積極的に声を掛けて対応する能動的に対応する人。
ワンストップサービス	1か所で、必要な行政手続きをすべて済ますことが出来るサービスのこと。
オンライン	コンピュータネットワークにおいて、コンピュータが当該ネットワークに接続されており、ネットワークを通じてサービスを受けられる状態をいう。（オンライン化により各種申請等の24時間受付）
フリーアドレス	図書館の閲覧室のように、職員が個々に机を持たないオフィススタイル。
エコマテリアル	優れた特性・機能を持ちながら、より少ない環境負荷で製造・使用・リサイクルまたは廃棄でき、しかも人に優しい材料（または材料技術）」を指す。
フレキシブル	融通のきくさま。柔軟性のあるさま。 例) 大会議室1室を可動間仕切りで小会議室2室として利用できる等利用状況によって柔軟に対応できること。
新エネルギー	公的には日本における新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法（新エネルギー法）において「新エネルギー利用等」として定義され、同法に基づき政令で指定されるもののことを指す。現在、政令により指定されている新エネルギーは、バイオマス、太陽熱利用、雪氷熱利用、地熱発電、風力発電、太陽光発電などであり、すべて再生可能エネルギーである。
オープンスペース	大規模なビルやマンションに設けられる空地（くうち：敷地のうち建築物が建てられていない部分）であって、歩行者用通路や植栽などを整備した空間をオープンスペースという。また広い意味では、都市における公園・緑地・街路・河川敷・民有地の空地部分などの建築物に覆われていない空間を総称して「オープンスペース」と呼ぶ場合がある。
パブリックスペース	公共の空間。誰もが自由に入出入りできる開放的な場所のこと。 例) エントランスホール